

総務経済常任委員会

若者会議について

6月19日16時より、大妻嵐山高等学校にて生徒との意見交換会を実施した。参加者は、井上教頭、村松教諭、生徒21名及び総務経済常任委員7名の合計30名。テーマは「嵐山町に係わってきた体験に基づいた自由な感想・意見」とした。生徒からは29項目に及ぶ発言があった。要約すると、地元産の食べ物について関心が強い。そして、ラベンダーも含めた「紫色」を全面的に押し出した、オオムラサキやラベンダーのアイス又はソフトクリームを町の特産として早く作り出すこと。国蝶オオムラサキを利用したインスタ映えスポットや、蝶の羽を背負える場所を設置する。羽は大妻生徒の皆さんのご協力をいただき。予算は町や関連団体に協力をお願いする。

8月17日には、ふれあい交流センターにてテーマ「嵐山

駅周辺10年計画について

6月19日、まちづくり整備課長より菅谷地区におけるアンケート調査結果の説明を受けた。地元説明会には30名程の参加があり、「やるからにはしっかりと計画してやって欲しいし、色々な関係者毎の説明会を望む。」との意見があった。



大妻嵐山高等学校の生徒との意見交換＝H30. 6. 19



地元を知る若者との意見交換＝H30. 8. 17

○委員からの質疑
問 駅西口ロータリーの必要性はあるのか
答 多くの町民から要望があった「町の顔である駅の活性化」
問 道路拡幅の必要性は
答 駅に続く道路と駅前

やかさを取り戻すため
問 買い物難民対策について
答 コンビニ、飲食店、スーパー等が駅前が無いことに対して、多くの土地が民地のため、駅前広場の改造とともに、民間活力を大いに発揮して頂けるよう計画していきたい。

文教厚生常任委員会

教育環境の充実に ついて

6月26日の委員会
ICT教育

これまでの調査から、当町の中学校では、教育用ソフトの導入、ICT支援員の配置、更には、先生方の取り組みも評価できる状況が確認できた。しかし、ICT先進地の調査も必要と、当日は、つくば市及び戸田市の調査研究を行った。つくば市では、ICT教育40年の歴史があり、戸田市では、プログラミング教育や英会話向上にICTを導入するなどレベルの高さを知ることができた。

運動部活動

当日午後、玉ノ岡中学校運動部活動を視察した。部活動

7月10日の委員会

統廃合

昨年8月、適正規模等検討委員会が立ち上げられ、これまで9回開催されている。その進捗状況について説明を求めた。

教育総務課長

教育委員会では、検討委員会からの具体的な質問等に答えるという形で、既存施設の修繕・工事状況、統廃合に対する国の方針、統廃合にかかる費用、学校規模の現状と今後の推計及び学級編成等について資料提供等を行ってきた。検討委員会の方向性としては、統合という形は小学校も中学

学習支援教室

学習支援教室は、今年度は2年目となるもので、成果や課題について説明を求めた。
教育総務課長

校もやむを得ないという方向で進んでおり、より具体的な方向性が見えたところで、正式に中間報告があると考えている。

7月27日の委員会

今後の調査

○ICT教育について
先進校におけるICT教育の実態を視察、調査していく。
○部活動について
嵐山町における運動部活動のあり方に対するガイドラインを調査する。
以上中間報告



ICTを活用した授業風景、玉ノ岡中
写真提供＝嵐山町教育委員会